

# 新潟県総合計画 最終評価報告書の概要

令和6年8月

新潟県総合計画評価・策定検討委員会

# 1 総合計画の最終評価

- 新潟県総合計画は、将来の目指すべき新潟県の姿を明らかにし、今後の県政運営の総合的・基本的な指針として、県政の各分野のあらゆる計画やビジョンの基本となる、県の最上位の行政計画です。
- 令和6年度が計画最終年度となるため、「新潟県総合計画評価・策定検討委員会」において最終評価を実施しました。

## 計画期間

2018年度  
(平成30年度) → 2024年度  
(令和6年度)

※最終評価の詳細については、「新潟県最終評価報告書（令和6年8月）」をご覧ください。

# 2 評価方法

## 評価方法

- 県の担当部局が内部評価（一次評価）を実施した上で、有識者による外部評価を取り入れた総合的な評価（二次評価）を実施しました。
- 評価については、成果指標の達成状況を基本とし、「施策・事業の実施状況」「社会経済情勢の変化」等を総合的に勘案しています。

## 評価区分

《各政策(小項目)の評価区分》

第1区分	第2区分	第3区分	第4区分
順調	概ね順調	やや遅れている	遅れている

《「人口減少問題への対応」及び「新たな重点課題への対応」の評価区分》






評価区分
目標の達成状況や取組状況等についての評価を記載






# 3 評価結果

## 将来像 I-1

### 安全に安心して暮らせる新潟

自然災害に対し、一段加速した対策を進め、原子力災害に対して万全に備えるとともに、身近な暮らしの安全を確保し、誰もが安全に安心して暮らせる新潟県を実現する。

小項目数	最終評価				
	 (順調)	 (概ね順調)	 (やや遅れている)	 (遅れている)	 (評価保留)
16	4	7	4	1	0

(1) 一段加速した防災・減災対策の推進	
① 県民の命と暮らしを守る一段加速した防災・減災対策の推進	
② 防災・危機管理体制の強化	
③ 県民の防災意識・地域防災力の向上	
(2) 安全・安心な地域を支える基盤づくり	
① インフラ施設及び公共施設の安全の確保	
② 安全で快適な日常生活を実現する社会基盤の整備	

③ 地域を支える建設産業の振興	
(3) 原子力防災対策の推進	
① 原子力防災対策の推進	
(4) 安全で安心なまちづくり	
① 犯罪のない安全で安心な社会の実現	
② 女性・子ども・高齢者・障害者などの安全の確保	
③ 消費者被害の防止と消費者教育の推進	
④ 交通安全対策の推進	
⑤ 食の安全・安心の推進	
(5) 豊かな自然・環境の保全と未来への継承	
① 人と自然が共生する暮らし	
② 持続可能な環境づくり	
③ 資源を大切に作る循環型の地域社会づくり	
(6) 拉致問題の全面解決に向けた取組	
① 拉致問題の全面解決に向けた取組	







「小項目名」をクリックすると最終報告書の該当ページへリンクします。






## 将来像 I-2

# 県民すべてが生き生きと暮らせる新潟




全国トップクラスの健康寿命が確保され、誰もが十分な医療と介護を受けられるとともに、子どもを生み育てやすい環境が整備され、住み慣れた地域で自立した生活を続けられる福祉が充実した新潟県を実現する。

小項目数	最終評価				
	 (順調)	 (概ね順調)	 (やや遅れている)	 (遅れている)	 (評価保留)
12	3	5	3	1	0





### (1) 健康立県の実現

① 県民の健康づくりの推進	
② 地域で安心して医療が受けられる体制の整備	
③ 地域医療を担う医師・看護職員の確保	
④ 住み慣れた地域で生活できる高齢者福祉の推進	
⑤ 「健康寿命延伸」と「最善のケア・サポート」を実現するための新世代情報基盤の構築	

### (2) 子どもを生み育てやすい環境の整備

① 結婚から出産、子育てまでの希望をかなえる切れ目ない支援	
② 特別な援助を必要とする子どもや家庭への支援	
③ 子どもの貧困対策の推進	






### (3) 住み慣れた地域で自立した生活が続けられる福祉の充実

① 障害者の自立と社会参加の支援の充実	
② 福祉を支える人づくりの体制の整備	
③ 県民運動としての自殺対策の推進	
④ 人と飼養される動物が共に幸せに暮らすところ豊かな社会の実現	




## 将来像 I-3

# 誰もが社会参画できる新潟

すべての人が個人として尊重されるとともに、様々な主体が協働し、社会や地域において、誰もが参画し活躍できる新潟県を実現する。

小項目数	最終評価				
	 (順調)	 (概ね順調)	 (やや遅れている)	 (遅れている)	 (評価保留)
3	0	2	1	0	0

### (1) 誰もが個人として尊重され、共に暮らせる社会の実現

① 誰もが個人として尊重され、共に暮らせる社会の実現	
(2) 共同参画社会の実現	
① 男女が共に参画し多様な生き方が選択できる社会づくり	
② 県民の社会活動参加と多様な主体の協働による共助社会の実現	








「小項目名」をクリックすると最終報告書の該当ページへリンクします。




## 将来像Ⅱ-1

# 多様な人や文化が交わる賑わいのある新潟



広く本県をアピールしていくための新潟ブランドを構築することで、交流人口の拡大や県産品の販路拡大などにつなげるとともに、日本海側の表玄関として更なる拠点性の向上により、多くの人々が集まる新潟県を実現する。

小項目数	最終評価				
	 (順調)	 (概ね順調)	 (やや遅れている)	 (遅れている)	 (評価保留)
5	0	0	1	0	4

### (1) 多様な地域資源を活かした交流人口の拡大

- |                                |   |
|--------------------------------|---|
| ① 国内外に通用する魅力ある観光地づくりと発信による誘客推進 |  |
| ② 外国人観光客の誘致の推進                 |  |
| ③ スポーツと文化を活かした地域づくりによる交流拡大     |  |

### (2) 更なる拠点性の向上と北東アジアをはじめとする諸外国との交流の推進

- |                           |   |
|---------------------------|---|
| ① 更なる拠点性向上に向けた交通ネットワークの整備 |  |
| ② 北東アジアをはじめとする諸外国との交流の推進  |  |






※以下に該当する小項目については、現時点において適切な評価ができないため評価保留とする。

- ① 指標値の悪化が新型コロナウイルス感染拡大に伴う行動制限・渡航制限などの不可抗力に直接起因することが明らかで因果関係があること
- ② 指標の最新値が、年間を通じて新型コロナウイルス感染症の影響を受ける令和4年度(2022年度)以前のものであること





## 将来像Ⅱ-2

# 活力のある新潟




起業・創業などに挑戦する人を積極的に支援するほか、産業集積や地域資源を活かした産業振興と高付加価値化を図るとともに、多様な雇用の場を確保し、活力と元気のある新潟県を実現する。

小項目数	最終評価				
	 (順調)	 (概ね順調)	 (やや遅れている)	 (遅れている)	 (評価保留)
17	0	12	3	1	1

### (1) 挑戦する人や企業が生まれ、集まる環境の整備

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| ① 起業・創業の推進               |  |
| ② 意欲ある企業等への支援による県内産業の活性化 |  |
| ③ 再生可能・次世代エネルギーの活用促進     |  |
| ④ 成長産業の創出・育成             |  |

### (2) 多様な雇用の場の確保と働きやすい環境づくり

- |                                 |   |
|---------------------------------|---|
| ① 魅力ある多様な雇用の場の創出と情報発信によるマッチング強化 |  |
| ② 企業誘致の推進                       |  |
| ③ 誰もが活躍できる働きやすい環境づくり            |  |



「小項目名」をクリックすると最終報告書の該当ページへリンクします。

### (3) 付加価値の高い持続可能な農林水産業の実現

- ① 担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開 ●
- ② 中山間地域農業の維持と農山漁村の多面的機能の発揮 ●
- ③ 森林資源の利用促進による林業の振興 ●
- ④ 水産業の振興と資源の適切・有効活用 ●
- ⑤ 農林水産業を担う人材の確保・育成 ●

### (4) 魅力あるまちづくりと定住の促進

- ① 魅力的な生活環境の創出に向けたまちづくり ●
- ② 若者の県内定着とU・Iターンの促進 ●
- ③ 住み続けることができる活力ある地域づくり ●
- ④ 雪と共に暮らす地域づくり ●
- ⑤ 地域を支える公共交通ネットワークの維持・充実 ●



「小項目名」をクリックすると最終報告書の該当ページへリンクします。

## 将来像Ⅲ-1

# 県民一人一人が学び、成長し、活躍できる新潟

誰もが、一人一人の個性に応じて、質の高い豊かな教育を受けることができ、今後の発展の礎となる未来を創る多様な人材を輩出することができる、県民一人一人が学び、成長し、活躍できる新潟県を実現する。

小項目数	最終評価				
	● (順調)	● (概ね順調)	● (やや遅れている)	● (遅れている)	● (評価保留)
8	0	3	5	0	0

### (1) 将来の夢や希望を育みかなえる教育の推進

- ① 一人一人を伸ばす教育の推進 ●
- ② 誰もが等しく豊かな教育を受けられる環境の整備 ●
- ③ 魅力ある高等教育環境の充実 ●
- ④ 児童生徒が安全に安心して学べる学校づくり ●

### (2) 地域の産業・社会を支える人づくり

- ① 未来の新潟に必要な人材の育成・確保 ●
- ② 生涯学び活躍できる環境づくり ●

### (3) スポーツと文化の振興

- ① スポーツを通じた豊かな生活の実現 ●
- ② 文化を通じた豊かな生活の実現 ●

# 人口減少問題への対応

評価結果 目標を達成しておらず、これまでの取組だけでなく一層の取組が必要

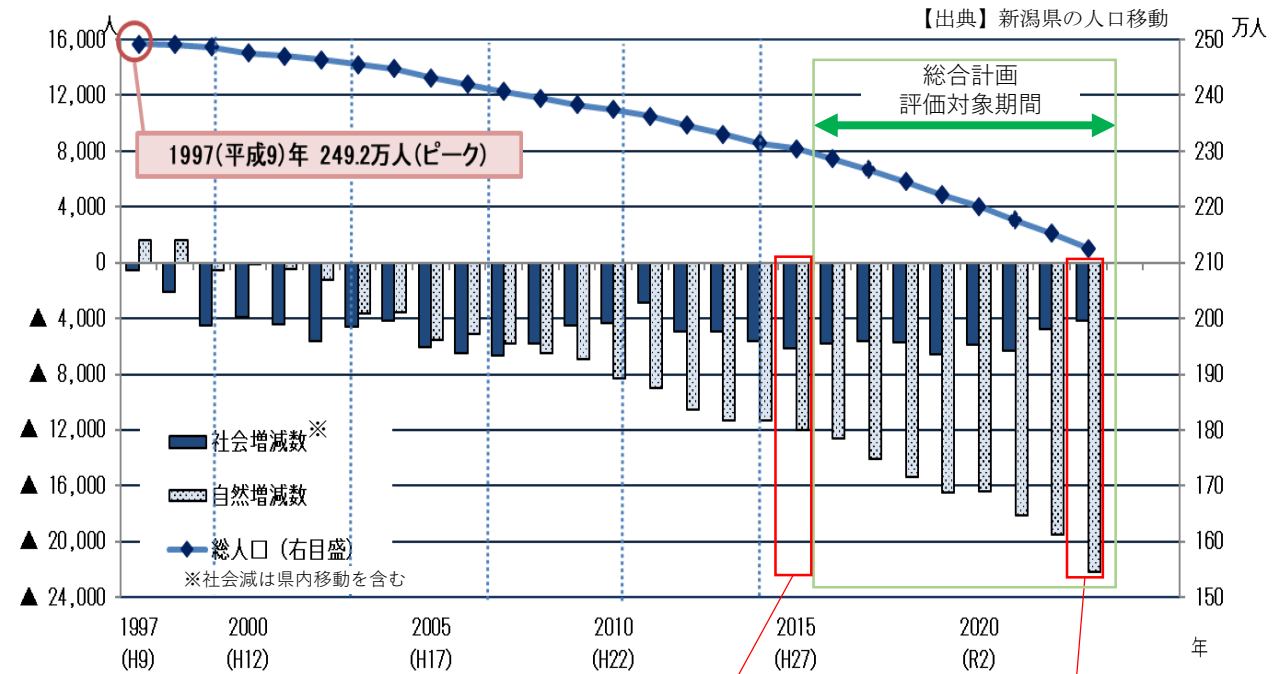
指標名	基準値 (2016年)	最新値 (年度等)	最終目標値 (2024年度)
【社会動態】 改善数	681人	1,823人 改善数 1,142人 (2016→2023年度)	改善数 2,500人程度 (2016→2024年度)
高等教育機関への 進学による県外への 流出	▲3,215人	▲1,558人 改善数 1,657人 (2022年度)	改善数 1,700人程度
県内大学生等の県 内就職	2,899人	2,709人 改善数 ▲190人 (2022年度)	改善数 70人程度
県外大学等の本県 出身学生のUターン 就職	2,052人	1,722人 改善数 ▲330人 (2022年度)	
県外からのU・Iター ン(学生を除く)	▲1,055人	▲1,050人 改善数 5人 (2023年)	改善数 730人程度
【自然動態】 合計特殊出生率	1.33 (2020年)	1.27 (2022年)	中間評価時点の 最新値(1.33)より 上昇させる

## ＜参考 新潟県の人口推移＞

本県の総人口は、ピークである1997年の249.2万人から減少を続け、2023年には212.6万人となっています。

直近1年間では2.6万人減少していますが、そのうち自然減少が22,289人、社会減少が4,199人と、減少数の多くが自然減少に起因しています。

計画期間において、県では、社会動態については「県内大学生等の県内就職、本県出身学生のUターン就職」、「U・Iターンの促進」、「県内進学(県内大学等の魅力向上)」、自然動態については、「出産・出生」について、政策を展開し、取り組んできました。



2015(H27)  
自然動態 : ▲11,980  
社会動態 : ▲6,176  
人口減少数 : ▲18,156

2023(R5)  
自然動態 : ▲22,189  
社会動態 : ▲4,199  
人口減少数 : ▲26,388

「評価結果」をクリックすると最終報告書の該当ページへリンクします。

## 新たな重点課題への対応

# デジタル改革の推進

評価結果	これまでの取組の成果は一定程度見られるが、目標を達成しているとは言い難く、今後一層の取組が必要
------	---

指標名	区分	現状値 (年度等)	最新値 (年度等)	最終目標値 (2024年度)
<b>1 暮らしにおけるDX</b>				
MaaSレベル2以上に取り組む事業者数	主要	0社 (2021年度)	0社 (2023年度)	3社
ICTを活用した授業が、学習意欲の向上につながっていると考える生徒の割合	主要	83.3% (2021年度)	87.9% (2023年度)	90.0%
救急相談アプリの利用者数	主要	0人 (2021年度)	22,217人 (2023年度)	15,000人
介護保険サービス事業所における介護ロボットの導入状況	主要	①特養等 37.8% ②通所介護等 5.1% (2021.4月)	①特養等 38.2% ②通所介護等 6.8% (2023.4月)	①特養等 55.4% ②通所介護等 12.4%
<b>2 産業におけるDX</b>				
支援企業のうちDX取組レベル3以上の企業割合	主要	27% (2020年度)	51.1% (2023年度)	50%
<b>3 行政におけるDX</b>				
キャッシュレス取組率	主要	— (2021年度)	7.9% (2023年度)	40%
県単独で変更できる手続のオンライン化率	主要	①手続数ベース 2.3% ②処理件数ベース 74.5% (2020年度)	①手続数ベース 74.6% ②処理件数ベース 86.6% (2023.9月)	①90% ②90%
紙使用の削減	主要	90,264,013枚 (2020年度) ※県(警察、学校、病院除く)の紙使用量をA4換算	80,065,086枚 (2022年度)	45,132,006枚 (2020年度比50%削減)

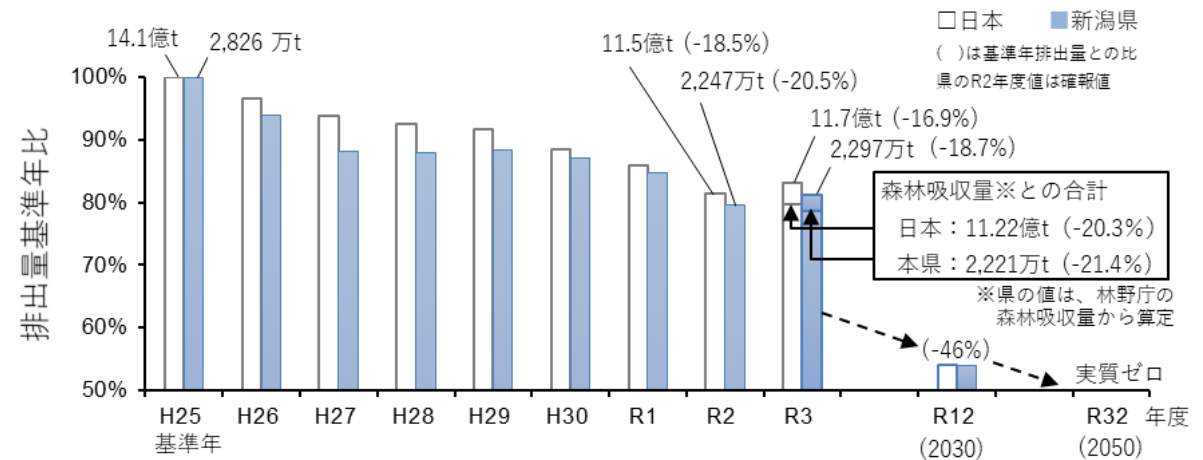
## 新たな重点課題への対応

# 脱炭素社会の実現に向けた取組

評価結果	目標を概ね達成するペースで推移しているが、2030年度の目標達成に向けてあらゆる取組の一層の加速化が必要
------	--

指標名	区分	現状値 (年度等)	最新値 (年度等)	最終目標値 (2024年度)
温室効果ガス排出量	主要	2,826万t (2013年度:基準年)	2,221万t (2021年度:速報値)	2030年度に基準年(2013年度)比46%削減を目指し排出量を削減※
※最終目標値:基準年(2013年度)から2030年度の目標に向けて排出量が直線的に減少すると仮定した場合における2021年度の排出目標量は2,214万tと算出				
県内需要電力量に対する再生可能エネルギー発電電力量の割合	主要	44.9% (2018~2019年度平均)	47.0% (2021~2022年度平均)	52.0% (2023~2024年度平均)

<参考 国及び県の温室効果ガス排出量 (t-CO<sub>2</sub>) >



【出典】環境省公表値及び新潟県環境局調べ

## 4 総合計画の改定に向けて

- 最終評価については、県の取組状況等も踏まえて総合的に判断したところですが、各政策の中には、成果指標の目標自体は達成しているが一層の取組が求められるものや、県の取組自体は評価できるが成果指標への反映に一定の時間を要することから目標に届かず、厳しい評価となったものもあります。
- このため、次期計画においては、県として目指すべき姿の実現に向けた取組の進捗状況をよりの的確に把握する観点から、客観性を備えた目標値の設定など、成果指標の設定や評価のあり方を検討することが重要と考えられます。
- 最終評価報告書においては、最終評価の結果だけでなく、議論の過程で委員から出された今後の取組の方向性等についての提言<sup>\*</sup>を取りまとめたところであり、この提言をしっかりと踏まえ、次期計画の策定を進めていくことを期待します。

※委員からの提言については、「新潟県最終評価報告書（令和6年8月）」をご覧ください。